

退院後の摂食嚥下リハビリを考える

丹後地域リハビリテーション支援センターでは、一人ひとりの状態に応じたリハビリテーションサービスが提供できる体制を目指し、地域の医療・保健・福祉などの地域リハビリテーション関係者が学ぶ機会を設けています。

今回の事例検討会では、退院後に摂食嚥下リハビリを継続できる体制づくりについて考えます。

事例報告

「『食べさせたい』という家族の思いをチームで支えた事例」
報告者: 松本 泰子 氏

医療法人仁寿会 いわさく診療所 理学療法士

講演

「摂食嚥下の評価と直接訓練の実際」

講師: 芦田 真美 氏

公益財団法人 丹後中央病院 言語聴覚士

グループワーク

「退院後の摂食嚥下リハビリを考える」

日時 平成27年7月31日(金) 13:30~16:30
(受付13:00~)

会場 大宮ふれあい工房 大研修室
(京丹後市大宮町三坂105-3 TEL:0772-64-5558)

対象 地域リハビリテーション関係者
医療機関及び介護保険事業所等、障害者生活支援センター、
市町地域包括支援センター、市町及び保健所保健・福祉担当者等

お申し込み 申込用紙に記入の上、FAXにてご送付ください

丹後地域リハビリテーション支援センター(公益財団法人 丹後中央病院内)
電話 0772-62-8301 FAX 0772-62-8302
締め切り 平成27年7月24日(金)必着